

狭基発第24号  
令和元年10月11日

航空自衛隊入間基地司令  
岩城公隆様

狭山市長 小谷野 剛

狭山市基地対策協議会  
会長 小林 明

入間航空祭における航空機の安全飛行の徹底について（要望）

秋晴の候、貴職におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、令和元年9月10日付け入基第174号で通知のありました、令和元年度入間航空祭の開催につきましては、本年も各種自衛隊機による飛行が予定されており、航空機騒音の増大や不測の事態の発生も危惧されるものがあります。

もとより、航空自衛隊入間基地は国防上、重要な役割を担うとともに、入間航空祭が周辺地域との相互理解を図るうえで貴重な機会であることは、充分認識しているところでありますが、その一方で、周辺住民の生活に少なからず影響を与えていることも周知の事実であります。

このことから、航空自衛隊入間基地を取り巻く市街地の状況等を考慮いただき、航空祭における飛行展示や曲技飛行につきましては最小限にとどめるとともに、重大事故に繋がるおそれのある市街地上空での低空飛行は行わない等、周辺住民の生活への影響を最小限に抑えるとともに、安全飛行の徹底を図るよう強く要望いたします。

なお、稲荷山公園駅の渋滞緩和を図るため、狭山市役所前臨時門、入曽駅臨時門への基地内の臨時バスの運行が予定されていることから、狭山市駅方面、入曽駅方面への混雑が予想されるため、歩行者の安全確保には十分ご配慮いただきますよう、併せて要望いたします。